

山弓連 平成22年 4月

新年度への期待 会長 天野 裕

平成21年度には政権を交代させるという国民による大きな選択がありました。しかし、新政権は迷走と多難を極めております。国民生活のこれからの見通しには明るさがなかなか見えて来ません。このことは弓道を志す私共の意気にも少なからざる影を落としているように思えます。それはさておき私も山弓連の昨年度を顧みながら新年度への期待を述べたい。

会員数については一般432名、大学生101名、高校生804名、中学生240名、計1,577でした。東京都連第一地区の1,240名を上回ってはいるものの、一般会員だけでは、都連第一地区の921の半数にも及びません。各支部内活動のみで満足されている弓友達へ山弓連加入を強く望むところです。

全日本選手権大会：弓界最高峰での入賞は久しい間、途切れております。関東地域の5名の代表選考会は7月18日に山弓連が主管して小瀬武道館弓道場で行われます。先ず男女ともこの5名の中に入ること、そして本大会で入賞へ向けて挑戦することを期待したい。

国民体育大会では、長年入賞が続いた少年男女の活躍も途切れました。替わって成年男子(上条剛央、細野晃史、中込実)が「トキめき新潟国体」で近似的8位に入賞する活躍をしました。これは選手強化部の定期練習日に前年から30名近い数の人達が参加して切磋琢磨した努力の結実と言えましょう。本年度も更なる錬磨により、より上位を目指していただきたい。

関東地域弓道選抜選手権大会では有段者の部で上条剛央選手(上野原市)が5位に入賞、称号者の活躍も合わせて大会賞・全弓連賞共に5位を獲得した。今年も上位入賞を目指していきたい。

全国健康福祉祭(札幌)では交歓試合競技で坂崎満子選手(甲州市)が敢闘賞を受賞した。「好齢者」のますますの活躍を期待します。

毎年正月に開催される全国弓道遠的大会の新成人女子の部では平成20年度に続いて、野矢晴香選手(甲府市)が2位入賞の栄に輝きました。

東日本高等学校弓道大会では富士北稜高等学校の女子(監督：中沢友二、選手：渡辺茉衣、山下美樹、

小佐野梨紗、安富柚那、宮下凌瑚)が5人制女子の部で3位入賞を果たした。今年12月には小瀬武道館で山梨県高体連弓道専門部の主管で開催されます。地の利を生かして全ての部門で活躍されますように。

昇段・昇格者は教士に松田恭昭、故吉成寛、上野捷利、長田長久の各氏、六段に内田堅治郎、標輝人の両氏のみでした。

叙勲された弓友：平成20年秋に深澤嘉元氏が教育職功績で瑞宝双光章を、平成21年春に松田恭昭氏が公安職従事功績により瑞宝双光章をそれぞれ授与されました。心からお祝い致します。

物故者 昨年度中にご逝去された弓友達：佐藤真佐美(69才)、安藤秀保(86才)、吉成寛(86才)、日原正史(69才)の方々です。ご冥福をお祈り致します。

以上のような状況でした。県外での各種大会・競技会での成績には日頃の精進が欠かせないのは当然です。ところで、弓道には競技用の射、審査用の射という区別は無いはず。「的」に対峙して射を行う以上、的中が無ければなりません。的中を求める余り、礼に即さず、誠を尽くしたとも思われぬ射になってしまっただけは論外です。日頃の稽古の中で注意したい点です。

講習会への参加、審査会への挑戦は本来弓道修行の過程がどこまで進んでいるか、自らを検証する場であり、昨年度の講習会へ参加されなかった方々や審査を一度も受審されなかった方々には、本年度は是非とも複数回の参加や挑戦をお願いしたい。

連盟主管行事・各種大会への積極的参加が山弓連を支える最大の力となります。本年度も更なる参加者の増加で担当者が嬉しい悲鳴をあげるのを期待しております。

それぞれの目標を定め、課題を克服すべく継続して精進することが大切なことは言うまでもありません。世の各種スポーツにおける優秀な選手達の精進する力を支えているものに、良きライバルの存在がしばしば指摘されます。弓道は一人でも稽古できる面があります。しかし、自分一人だけでは発揮できない力もライバルの存在に因って奮起させることが出来ると云います。ひとりでも良きライバルを心に決めて、誘い合って稽古を積まれることを提案したいと思います。

山弓連各部の諸行事は勿論、各支部での日頃の修練結果が大きく一つになって連盟の活力を形成して行くよう願っております。平成22年4月

<心も体も真っ直ぐに>

段位別選手権

(兼) 全日本関東選抜1次予選大会

平成22年4月18日(日) 小瀬武道館弓道場
100名の参加申込、出場者数86名、今年の山弓連会員の活躍を占う大会にしてほしいと、天野会長の挨拶で段位別選手権大会が開催されました。

成績

三段以下の部 参加人数28名申込数30名

優勝・上条剛史(上野原) 三段 7中
2位・小俣雅子(富士吉田) 二段 6中(遠近競射)
3位・渡辺 誠(増穂) 一級 6中(遠近競射)

四段の部 参加人数17名申込数20名

優勝・神田英彦(大月) 7中 ○○○○○○
2位・渡辺幸太(富士吉田) 7中 ○○○○○×
3位・斉藤勝利(富士吉田) 7中 ×

(射詰競射)

五段の部 参加人数17名申込数18名

優勝・深沢 勇(南ア) 6中
2位・大野晃史(甲府) 5中(遠近競射)
3位・中沢友二(教職) 5中(遠近競射)

称号の部 参加人数24名申込数27名

優勝・標 輝人(笛吹) 錬士六段 6中 ○○○○
2位・宮崎克行(韮崎) 教士六段 6中 ○○○×
3位・若杉年久(笛吹) 錬士五段 6中 ×

(射詰競射)

尚、5月9日(日) 最終予選会開催

射数 1手3回 最初の1手 審査の間合い
採点対象、他は競技の間合い

全国ねりんピック・勤労者選手権県予選

平成22年4月4日(日) 小瀬武道館弓道場

第57回全日本勤労者選手権大会出場チーム

(1) 横河電機(株)に決定

第23回全国健康福祉祭いしかわ大会出場選手

曾根敦子(三段・笛吹市)
棚本佳秀(三段・大月市)
岩崎 博(三段・大月市)
斉藤美隆(四段・笛吹市)
内藤幸雄(錬士六段・甲府市)
補欠・菱山忠夫(錬士六段・笛吹市)
土屋敏子(四段・甲府市)

第32回大法師さくらまつり弓道大会

平成22年4月4日(日)

今年の桜祭り弓道大会はその名の通り満開の桜の下、天気よし桜よしそれに陽気もよく絶好の弓道日和に恵まれ、県下の弓友80余名が集い熱戦が繰り広げられました。個人入賞15位までとしましたが、8中以上と言う中で内容の濃い大会だったと関係者一同喜び合ったところです。今大会は32回でしたが増穂町、鵜沢町が3月合併し富士川町となって新町発足第1回目の記念すべき大会にふさわしく盛り上げていただき感謝しているところです。来年も続ける心算で居りますので今後ともよろしくお願い申し上げます。(記・立川 賢)

団体優勝

甲斐市 24中 渡辺裕介 柳本武彦 豊田浩正
第2位 富士吉田 23中 渡辺大 曾根豊 白須吉人
第3位 富士吉田 21中 伏見康孝 渡辺幸太 桑原良

個人優勝 高部保延(都留) 10中 2位 豊田浩正(甲斐) 10中 3位 白須吉人(吉田) 10中
4位 大平慧(山梨学院) 9中 5位 羽田穂高(富士吉田) 9中 6位 大川文子(富士川) 9中 7位 渡辺幸太(富士吉田) 8中 8位 渡辺大(富士吉田) 8中 9位 宮崎翔(甲府) 8中 10位 中込実(南ア) 8中 11位 桑原良(富士吉田) 8中 12位 野矢晴香(甲府) 8中 13位 大熊隆(富士川) 8中 14位 渡辺純子(中央) 8中 15位 渡辺裕介(甲斐) 7中

以上同中者は総て競射、優勝決定戦は射抜き

(編集後記)

平成22年度第1号の発行です、今年度も量、質とも充実して行きたいと思っております、是非会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。県連の記事のみならず、各支部、地域の行事、大会の様様を寄稿していただければ、大変うれしく思います。

今号の大法師さくらまつりも毎年盛大に開催される様様を早速ご寄稿頂き厚くお礼申し上げます。

尚、会報「山弓連」の編集、発行、配布等にご意見ご指導をいただきたいと思っております、お聞かせ下さい。(編集担当・新藤康平)

甲府市湯村1丁目7-2-202

Tel.・Fax 055-252-1938

メール・s-kouhei@maroon.plala.or.jp